

海外研究者を招聘（雇用）する際のサポート体制についてのアンケート結果について【被招聘者】

一招聘（雇用）した海外研究者に伺いました 2019.3.15ー
共同研究を進めていく上でどのようなサポートが必要でしょうか？

アンケートを依頼した人数	：49名	IIR	38名	学院11名
アンケートを回収できた人数	：31名	IIR	24名	学院7名
回収率			63%	64%

※グラフ下のコメントはそれぞれの設問に対して記載のあったものです。

1. VISA 取得まで WRHIのサポートがあったのでスムーズだった。 少し大変だった。 非常に困った。 サポートがなくても問題ない。 ・ビザ手続きは非常によかった。事前にすべての説明を受けることができた。	(現況分析) ・海外在住の日本人研究者以外はサポートがあってよかったと回答 (大学でCOEの申請書を裏書きし、入管で発行されたCOEを発送。本人が本国にある日本大使館または領事館に赴き申請していただいている)
2. 在留カード WRHIのサポートがあったのでスムーズだった。 少し大変だった。 非常に困った。 サポートがなくても問題ない。 ・到着時の在留カードの受け取り方や出国時のE/Dカードについて説明があった。 ・在留カードの住所裏書はWRHIで代行してもらえたので助かった。 ・WRHIですべてやってくれた。サポートは完璧だと思う。	(現況分析) ・2018年からはWRHIですべての在留カードについて住所の裏書を代行した。
3. 宿泊場所について WRHIのサポートがあったのでスムーズだった。 少し大変だった。 非常に困った。 サポートがなくても問題ない。 ・宿泊については便利で説明も十分だった（国際交流会館） ・WRHIで事前にアレンジしてもらえた。	(現況分析) ・日本にくるのが初めての研究者には国際交流会館をおすすめし予約までをWRHIで代行した。 ・すずかけ台で大学のAccommodationが必要。現在は、短期滞在の場合は青葉台フォーラム等を受入れ教員が手配している。 ・2018年からは近隣のCKすずかけ台と合意し緩和した条件で入居が可能となったので、希望者には内見から契約までWRHIでサポートしている。
4. 勤務管理について WRHIのサポートがあったので... 少し大変だった。 非常に困った。 サポートがなくても問題ない。 ・時間管理については研究室のスタッフが適切に管理してくれた。 ・私の研究室がすべての管理業務を行っているが大変で時間がかかると感じています。私は時間を数えるためにそんなに多くの時間を費やす必要があるのかわかりません。	(現況分析) ・時間給支給用のフォーマットを研究室に渡している。 ・受入れ教員もしくは秘書の方が毎月提出している。
5. 租税条約 WRHIのサポートがあったので... 少し大変だった。 非常に困った。 サポートがなくても問題ない。 ・IRISで手続きを行った。 ・結果はまだわからない。	(現況分析) ・教授特典のある国から来日の研究者にはあらかじめ申請の希望を聞いている。 ・本国の税率と見比べての申請となるため、一律でお勧めすることはできない。 ・基本的には本人に決めていただくことではあるが、ある程度の情報提供は必要。 ・日本で税金を払った研究者については証明書を後日送付している。

6.採用の書類手続き WRHIのサポートがあったのでスムーズだった。 非常に困った。 サポートがなくても問題ない。 少し大変だった。 ・問題なく手続きされていた。	(現況分析) ・採用手続きはすべてWRHIで行っている。 ・手続きに必要な書類を本人の確認のもと人事に提出し、着任日に労働条件通知書等の説明を行っている。 ・着任先の長と連絡を取り、辞令交付としてお目にかかれる機会をつくっている。
---	--

7-1.研究室について WRHIのサポートがあったのでスムーズだった。 非常に困った。 サポートがなくても問題ない。 少し大変だった。 ・私はホストのラボに滞在した。問題ありませんでした。 ・共用研究室があるのは知らなかった	(現況分析) ・受入れ教員のラボで机を準備いただくことが多かった。 ・2018年からは順次共用研究室の利用を促進した。
--	--

7-2. 研究環境について WRHIのサポートがあったのでスムーズだった。 非常に困った。 サポートがなくても問題ない。 少し大変だった。 ・実りのある有益な滞在を送ることができた	(現況分析) ・7-1の研究室と質問がかぶってしまったが大学としての環境を聞いた質問
--	---

8. 滞在の成果 満足している。 不満である。 余り満足していない。 まあまあ満足している。 ・1か月で私達は論文を出版することができた。 - また、以前からの研究について論文を提出した。とても良い結果である。	(現況分析) ・概ね良好
---	---

URAのサポート必要性 特になし 東工大のシステムについて 科研費の申請について その他 その他希望することに記載された内容 ・国際的に有名なオープンアクセスジャーナルへの出版料の支払い ・英語のプレスリリースから日本語への翻訳は非常に役に立つ。 - 研究者がどのようにプレスリリースの原稿を書くかを考えることができる。 ・日本での科研費以外の研究資金調達の見つけ方のための支援	(現況分析) ・IIRに着任した研究者のみに聞いた設問 ・外国人PIは外部資金に応募する際特にサポートを必要としている。 ・スポットで来日する研究者も共同研究者として応募に名前を入れる場合がある - 東工大での研修会に出たりe-Radに登録する必要がある
--	--

【全体に対しての被招聘者からのコメント】

- ・質問は大学での生活についてでしたが、社会的、文化的、言語的興味などが私たちが東工大に参加する理由の一環です。これらは、ヨーロッパの研究センターや大学で働いていた時に実感しました。
- ・時間単位で支払われるのは、このレベルの大学では非常に珍しいです。一方で、金銭的補償は寛大です。
私はこれまで他の国で時間給を経験したことはありません。（アメリカ、イギリス、オーストラリア、中国）
- ・他の外国人研究者とコミュニケーションをとる機会があればさらに素晴らしい。
- ・TITechで使用可能なリソースについての手引きがあると便利です。